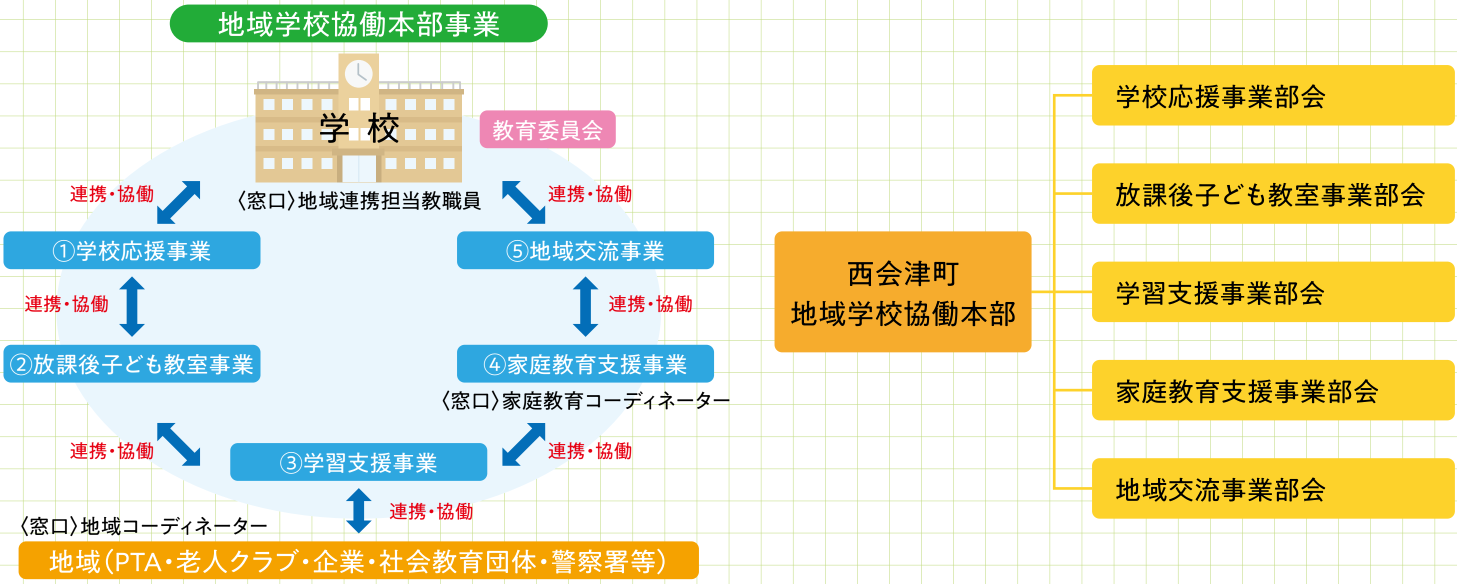
西会津町
地域学校協働本部事業

西会津町地域学校協働本部

西会津町地域学校協働本部事業

～学校を核とした地域づくりの推進～



1 事業の目的と組織について

＜背景と目的＞

少子高齢化・核家族化・ＩＴの発達などにより、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、子どもたちと地域の関係の希薄化や、コミュニケーション能力の低下が懸念されている。そこで、本町では本事業の「地域全体で子どもたちの学びや成長を支援するしくみ」により、子どもたちのコミュニケーション能力を伸ばし、生きる力や郷土愛の醸成、そして地域の活性化に向けて取り組んでいる。小・中学校の地域連携担当教職員や地域コーディネーター、家庭教育コーディネーターが窓口となり、連携・協働しながら５つの事業を推進している。

＜組織について＞

西会津町地域学校協働本部では、推進委員会（評価検証委員会）を年３回程度開催しており、事業全体についての協議や評価検証を行っている。また、本部は５つの部会をもち、より具体的な協議を行いながら、効果的で実行性のある活動につなげている。

2 事業の成果と今後の見通し

■子どもと地域の交流が増えることで、子どもたちの地域への愛着が芽生え、地域では子どもとの交流が良い刺激となり、活動が活性化するなどの相乗効果が生まれている。

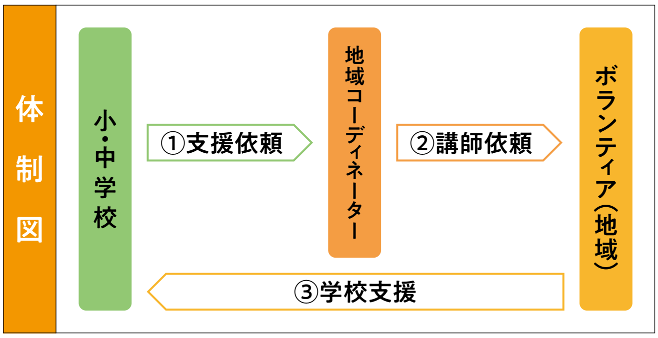
■本事業が地域全体に広まるよう、事業のＰＲを強化し、学校や地域の意見を取り入れながら事業を活用しやすくすることで、子どもの成長や地域活性化を促進していく。

■令和２年４月から小・中学校がコミュニティスクールとなることから、地域学校協働本部と学校運営協議会が両輪となって、学校を核とした地域づくりを推進していく。

活動紹介　地域住民の参画を得て、子どもを見守り、学校の活動を応援！

①学校応援事業

関係する学校
西会津小学校、西会津中学校



1 活動の概要

〇学校応援事業は、小・中学校でそれぞれ行われてきた「学校を支援するボランティア活動」(学校支援事業)をシステム化し、より効果的に学校を支援するものである。

〇支援の流れは、①小・中学校が教育活動で「支援してほしいこと」を、地域コーディネーターに相談・依頼する。②コーディネーターが支援内容について、担当教諭又は地域連携担当教職員と協議する。③西会津町ボランティア活動サポートセンターと連携して、地域の人材から講師等を選定・依頼し、教育活動の支援等を行う、というものである。授業や登校指導など、学校の教員だけでは担いきれない部分について地域が補っている。

2 特徴的な活動内容

＜西会津小学校＞

〇授業への支援(「総合的な学習の時間」での活用)

・「にしあいづ物語(4年)」…町内の5地区を訪問し、史跡や歴史、伝承について学習している。

・「米作り体験(5年)」…農協青年部の協力のもと、田植えや収穫体験などを行っている。

にしあいづ物語 野沢地区編(4年)

〇登校安全指導

・ 地域のボランティアにより「見守り隊」を結成し、登校中の子どもたちを事故や犯罪から守るため一緒に歩きながら見守っている。

登校安全指導

＜西会津中学校＞

〇部活動(バレー、卓球)の指導を、年間を通して実施している。

3 事業の成果と今後の見通し

〇「登校安全指導」を通して、地域の方々と児童が顔見知りになり、安全が図られている。

〇子どもたちが地域の史跡や歴史を学ぶことで、地域への関心が高まり、地域への愛着が育まれている。

〇町ボランティア活動サポートセンターとの役割分担を明確にしながら、協力体制を強化する。

〇今後は、より多くの地域ボランティアに参画してもらえるように地域への事業周知を図る。

ポイント　地域の情報を駆使して学校をバックアップ

活動紹介　遊びを通して子どもを育む 子どもも大人もみんな笑顔に！

②放課後子ども教室
（西小わくわくクラブ）

関係する学校
西会津小学校

体制図

放課後子ども教室実行委員会
（委員長、副委員長、委員）

安全管理員・活動指導員
（読み聞かせ・昔遊び・工作・レクリエーション等）

西会津小学校の児童

1　活動の概要

○本町の放課後子ども教室は、平成19年度より放課後や休日に子どもたちが安心して活動できる場の確保と、児童の健全育成を目的に、地域の安全管理員や活動指導員が活動の支援を行っており、平成24年度から「西小わくわくクラブ」として活動している。
○平日活動は、週１回、放課後の時間を使って、小学校１年生を対象に本の読み聞かせや昔語り、工作やレクリエーション等を行っている。
○休日活動は、休日や長期休業中に、全学年や親子を対象とした自然体験や工作、料理教室などを行っている。

2　特徴的な活動内容

○身近な自然と体験活動
小学校周辺の自然散策や、田んぼの生き物調査など、身近にある豊かな自然の中で、五感を使った体験活動を行っている。

○絆を深める活動
休日活動の中には親子で取組む活動もあり、親子がふれあうことでお互いの理解や愛情を深めている。

○他団体や役場内の連携
読み聞かせグループや昔語りのグループ、農協青年部やNPO法人、健康増進課等と連携することで、活動の幅が広がっている。また、地域の大人と関わることで、様々なことに興味・関心が生まれ、大人も自分の活動や仕事に誇りややりがいを感じることができる。

折り紙（平日活動）

田んぼの生き物調査（休日活動）

3　事業の成果と今後の見通し

○少子化により、家に帰っても近所に子ども（遊び相手）がいない児童も、友達や地域の人と一緒に過ごすことができるため、協調性や社会性を身につけることができる。
○地域の大人は、子どもと交流することで元気が生まれ、子どもの成長がやりがいや生きがいにつながっている。
○休日活動では、親子のコミュニケーションが図られ、食育などの学びにもつながっている。
○継続した活動ができるよう、地域の新たな人材を発掘しながら、楽しい学びの場をつくっていく。

ポイント　**子どもの笑顔広がり、大人も楽しく共に学ぶ共育**

活動紹介

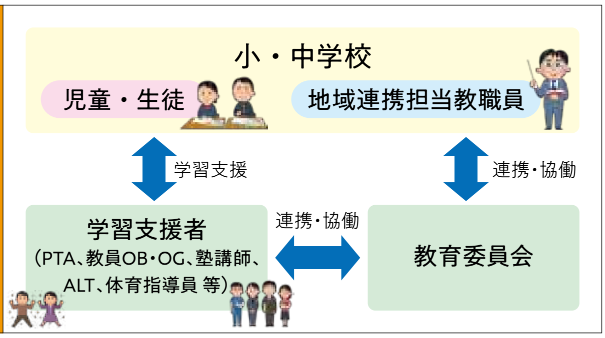
子どもたちの自主的な学びを支える学習支援

③学習支援事業

関係する学校

西会津小学校、西会津中学校

体制図



1 活動の概要

○小・中学校の児童・生徒を対象に、放課後や長期休業中に無料の学習会を実施し、地域の教員OB・OGやPTA、塾講師等の協力を得ながら、子どもたちの自主的な学習を支援する。

○授業とは異なる視点から学ぶことで、学習意欲を高めるとともに、地域の方と直接話しながら学習する中で社会性を育てる。

○全町民を対象に日本漢字能力検定を年２回程度実施し、子どもから大人まで生涯を通した学びを応援する。

2 主な活動内容

○学習会（小学校）

小学生の希望者を対象に、夏休みのプール指導前に学習会の時間を設け、地域の学習支援者が声掛けなどを行いながら、児童の学習支援を行った。また、自主学習のほか、体操教室やＡＬＴによる英語教室、ＩＣＴ支援員によるパソコン教室も取り入れた学習会を実施している。

○学習会（中学校）

中学生対象の放課後学習会（教科は自由選択）を実施し、生徒の学習を地域の学習支援者が補助する。中学校３年生を対象とした受験対策の学習会も行っている。

○漢字検定

年に２回、地域の小学生から大人を対象とした日本漢字能力検定を実施している。

学期末テスト対策学習会（中学校）

全町民対象の漢字検定の実施

3 事業の成果と今後の見通し

○地域の学習支援者が優しく丁寧に教えてくれるので、児童・生徒が授業でつまずいているところや難しい問題について安心して質問するなど、自主的な学びにつながっている。今後も、安定的に継続した学習支援ができるような体制・方法を構築しながら実施していく。

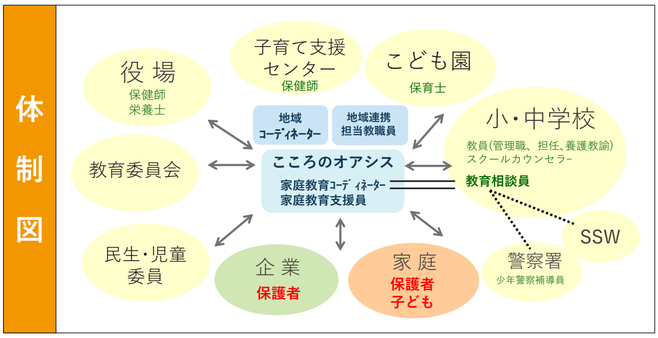
○漢字能力検定は、少しずつ受検者が増えており、今後も継続して実施できるように進めていく。

ポイント **地域の教育力を生かした学ぶ機会の創出**

活動紹介　笑顔があふれる家庭づくりのために子どもと家族に寄り添った支援活動

④家庭教育支援事業

関係する学校
西会津小学校、西会津中学校



1 活動の概要

○家庭と地域、親同士のつながりが希薄になっていく現代で、子育てに悩む保護者が不安を抱えたまま孤立しないようあらゆる相談に応じ、関係機関と緊密に連携しながら、継続的な支援を行っている。
○家庭の教育力の向上を目指し、子育てに関する講座や親子イベントなど、学習機会の提供に取り組んでいる。
○仕事で忙しい保護者に対して、就労先の企業を訪問し子育てに関する情報提供や相談室の周知を行っている。

2 特徴的な活動内容

○気軽に入れる家庭教育相談室の運営
小学校内に設置した家庭教育相談室「こころのオアシス」で“じっくり聞いてしっかりつなげる”をモットーに児童・生徒や保護者、地域の方の相談に丁寧に応じ、関係機関と連携しながら相談者の不安解消や継続的な支援につなげている。

○保護者への学習機会の提供
家庭教育講座や小学校見学ツアーを開催し、保護者へ情報提供を行っている。

○親子参加型イベントの企画運営
親子参加型の音楽コンサートやフリーマーケットを開催している。

○企業訪問
仕事で忙しい保護者の会社へ出向き、子育てに役立つ出前講座を開催し、家庭や地域での教育の大切さを伝えている。

○食育活動
「味覚の授業」の提案や、町と連携したレシピコンテストを開催している。

家庭教育相談室 こころのオアシス

就学時健診 家庭教育講座

3 事業の成果と今後の見通し

○学校生活でつまずきがちな子どもの居場所として活用されている。
○相談室が情報共有の場となることで、関係者同士の連携がよりスムーズになり、課題解決につながっている。
○相談者が立ち寄りやすく地域に根差した親しみやすい相談室として定着しつつある。さらに多くの家庭が笑顔で子どもを育てられるよう、子どもや家族に寄り添った支援を行い、相談者の課題解決につなげていく。
○保護者目線の学習機会の提供や、様々な子育てイベントを通して、家庭教育への関心を高めていく。

ポイント　「じっくり」話せて「気軽」に立ち寄れる相談室

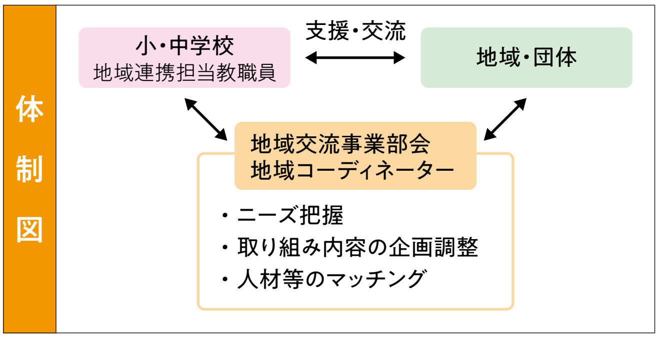
活動紹介

地域交流活動を通して地域全体で子どもの学びや成長を支える

⑤地域交流事業

関係する学校

西会津小学校、西会津中学校



1 活動の概要

○少子化に伴う学校の統廃合により、地域で子どもを見かけなくなり、地域とのつながりが減ったことで子どもたちのコミュニケーション能力や社会性の低下が懸念される中、地域交流事業部会や地域コーディネーターが、学校と地域をつなぐことで交流活動を推進し、社会性の向上や地域への愛着、更には生きる力を育んでいる。

2 特徴的な活動内容

○西会津中学校ボランティア活動

自治区長を対象にアンケート調査を行い、地区の要望に沿ったボランティア活動（サロン交流、蕎麦打ち体験、清掃活動等）を中学生が行った。

○出店のお手伝いボランティア

町のイベント「西会津ふるさとまつり」の出店ボランティアを小・中学生から募集し、販売や接客などを体験してもらった。子どもにとって貴重な社会体験の場となり、お店からは活気が出たと喜ばれた。

○サロン交流活動

小学生が放課後に地域のサロンを訪問し、輪投げや手遊びを行い高齢者と交流した。また、社会科の授業にサロンの高齢者を招き、戦争の体験談を聞いた。

○創作和太鼓「大山さゆり太鼓」

子どもと大人が一緒に創作和太鼓に取り組み、町内外のイベントで演奏し、地域を盛り上げている。

○ジュニアゲートボール

ゲートボール協会の支援のもと、中学生が練習を重ね、各種大会に参加した。また、西会津高校への指導を実施するなど、交流が拡大している。

地域の施設等でボランティア活動（中学校）

出店のお手伝いボランティア活動

サロンの高齢者との交流

3 事業の成果と今後の見通し

○ボランティア活動やサロン交流活動において、児童・生徒が自分から話しかけ、行動することで、コミュニケーション能力の向上や多様な学びにつながった。また、地域の方々から大変喜ばれ、活動の継続を望む声が聞かれた。

○交流機会が増えることで子どもたちの地域への関心も高まっている。今後は、地域の協力を得ながら、計画的に地域交流活動に取り組み、子どもの成長と地域全体の活性化につなげていく。

ポイント **地域ニーズを把握し、子どもと地域がwin×winに！**

編集・発行

西会津町地域学校協働本部

〒 969-4495
福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙 3308 番地
TEL：0241-45-2216

（令和２年３月発行）